



2026年5月1日

各位

会社名 東北化学薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 康之
(東証スタンダード・コード7446)
問合せ先 執行役員総務部長 相馬 俊一
(TEL. 0172-33-8131)

業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年11月14日付当社「2025年9月期決算短信」において発表いたしました2026年9月期(2025年10月1日～2026年9月30日)の第2四半期(中間期)業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年9月期 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	330	370	270	299 68
実績値 (B)	18,942	530	564	395	439 52
増減額 (B-A)	△58	200	194	125	—
増減率 (%)	△0.4	60.6	52.4	46.2	—
(ご参考) 前期実績 (2025年9月期中間期)	17,806	325	354	268	298 40

2. 2026年9月期 第2四半期(中間期)個別業績予想と実績値との差異

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	340	260	288 58
実績値 (B)	15,026	530	376	418 29
増減額 (B-A)	26	190	116	—
増減率 (%)	0.1	55.8	44.6	—
(ご参考) 前期実績 (2025年9月期中間期)	13,913	325	251	278 59

3. 差異理由

2026年9月期中間会計期間での業績予想につきましては、堅調に推移しており、売上高はほぼ計画どおりとなりました。

また、経費節約の効果や投資有価証券の売却益などで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が前回公表予想を上回りました。

なお、2026年9月期通期の見通しに関しては、イラン情勢及びウクライナ情勢など不確定要素も多いことから、現在精査中で修正の必要が生じた際には、速やかに開示いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上